

第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会（地域別構想） 議事要旨

- I 開催日時
平成30年2月13日（火）14:00~15:30
- II 開催場所
熊本市役所 11階会議室
- III 出席委員 7名
両角委員長、相藤委員、田中委員、原委員、本間委員、前田委員、松田委員
（欠席者：柴田委員）
- IV 次第
 - 1 開会
 - 2 議事
 - ①第1回会議の修正事項について
 - ②その他
 - 3 閉会
- V 配布資料
 - 1 次第
 - 2 資料①
 - 3 資料②
 - 4 資料③
 - 5 その他
- V 議事要旨

1. 防災関連図について

（相藤委員）

- ① 熊本地震の時に、西区の人たちはどこへ逃げればいいのか分からないという事があった。ハザードマップには、どのようなルートで避難すればよいか分かるようになっているのか。

（両角委員長）

- ② 防災関連図の凡例について、土砂災害と土砂災害（指定予定）があるが、図では識別できない。凡例を一つにまとめて（指定予定を含む）等にした方がいいのではないか。凡例の表現が分かり難いところがあるため一度調整、工夫をしていただけたらと思う。

（原委員）

- ③ 凡例について、被害の危険度の表し方についてですが、液状化と洪水の凡例が、被害が大きい方が上から表示されていたり、被害の小さい方が上から表示されていたりしているため、並べ方を統一された方がよい。
- ④ 防災関連図の洪水浸水深について、どの程度の雨を想定した浸水深であるのかが分からないため記載した方がよい。

（事務局）

- ① 現在のハザードマップでは、逃げる方向を矢印で示している。地域別構想では、より詳細な災害リスクについては、ハザードマップ等をご確認いただくよう記載しており、意見があった避難経路等についても、ハザードマップでご確認いただけたら

と思う。この防災関連図の使い方としては、防災意識の導入部分として使用できればと考えている。

②③ 記載について検討したい。

④ どのような前提条件で示されているのか整理して記載したい。

2. 災害リスクの選定について

(田中委員)

① 地域別構想で取り上げられている災害リスクについて、考えれば想定される災害リスクはたくさんあると思うが、その中でもこのリスクを取り上げている理由が分かるような記載があると、読み手は分かりやすいのではないかと思う。

(両角委員長)

① ここでは、土地の災害リスクが取り上げられていると思う。視覚的になかなか見えない土地に潜在するリスクというものを掲げている。

現地に即した避難のあり方は、地区防災計画の中で、地区毎に作られるものだと思う。その辺の書きぶりについては、本文に入っているのだけれど、どこかで表現されればいいかと思う。

(事務局)

① 記載について検討したい。

3. 災害リスクと対策基盤などの構成について

(田中委員)

① 「災害リスクと対策基盤など」というタイトルになっているが、記載の順番がバラバラになっているため、タイトル通りに、災害リスクを先に記載して、その後に対策基盤について記載した方が分かりやすいと思う。

(事務局)

① 記載について検討したい。

4. 各区における都市づくりの頭出しについて

(本間委員)

① 3章に各区における都市づくりがあるが、目次等を見ても、各区で何を書かれているのかの記載が無いまま各論に入っているのが分かり難い感じがする。どのような内容の記載があるのか分かるような頭出しが欲しいと思う。

(両角委員長)

① 3章の始めに頭出しの記載がありますが、大事なところや、見て欲しいところについてはもう少し膨らませて記述するのも一つの手かと思う。

(事務局)

① 記載について検討したい。

5. 住民参加型ハザードマップの活用について

(前田委員)

① ハザードマップが全体像として見られるというのは、非常に意味があると思う。細かな災害リスクについては自治会単位で取り組む必要があるかと思うが、以前、

NTT と熊本市で、住民参加型のハザードマップを作った事があり、全部で900自治会の内130くらいで作成を行った。これは熊本が誇れる、非常に良い取り組みではあったのだが、地図アプリを活用したハザードマップであるため、インターネット閲覧しか出来ず、なかなか市民に活用していただけなかったという事もあり、途中で終わってしまっている。データはNTTにあるので、一度確認いただいて、次に活用していただけたらと思う。

(両角委員長)

- ① 取り組みを行った事が大事であり、それを皆で共有する事が非常に大事だと思う。例えば避難経路上のこの橋が危ないであるとか、危ない塀がここにあるといった事は時間と共に変わるものであるため、一度作成したら終わりではなくて、それを活用して次につなげる事が必要だと思う。是非とも活用していただければと思う。

(事務局)

- ① 承知した。

6. 避難所の活用について

(相藤委員)

- ① 避難所の整備について、要配慮者の特性に合わせ、臨機応変な教室活用について記載していただきたい。

(松田委員)

- ① 市の避難所運営マニュアルに記載があるかと思う。

(両角委員長)

- ① 要配慮者のスペースを確保するという事は記載できると思うが、教室の活用については、学校のプランがあるかと思うので、工夫して記載をお願いします。

(事務局)

- ① 避難所運営マニュアル等を確認し、記載について検討したい。

7. 見直しを行う趣旨説明について

(両角委員長)

- ① なぜ今回見直しているのかという趣旨の説明があった方がよい。

(本間委員)

- ① なぜ見直すのかという前文は無いのだろうか。前文が無いとなぜ見直すのか、どこを見直したのかが見えにくいと思う。

(前田委員)

- ① 本文の2ページにその様な記載があるので、ここを上手くつなげていただければよいかと思う。

(事務局)

- ① 記載について検討したい。

8. その他

(松田委員)

- ① 西区や南区には海拔0m地帯は無いのだろうか、もし居住地で海拔0m地点があるのであれば、記載が必要だと思う。

- ② 観光客の対応の部分の記載で、「地図を配るなど避難誘導を図ります」との記載があるが、表現と揃えるのであれば、「円滑な避難誘導體制の充実を図ります」などの表現の方がよいかと思う。

〔両角委員長〕

- ③ 西区と南区の記載について、西区では「集落付近の高台における避難所や防災倉庫等の防災拠点施設の整備を推進します」と記載があり、同様の内容で南区では「堤防の強化に加え堅牢な避難所や防災倉庫等の防災拠点施設の整備を推進します」という記載になっている。西区と南区での違いは何かあるのか。

〔事務局〕

- ①②③ 承知した。記載について検討したい。

以上